

雑誌 (邦文)

小林祥, 長谷川智彦, 大和雄, 安田達也, 有馬秀幸, 戸川大輔, 松山幸弘	成人脊柱変形に対する骨切り手術における術中神経合併症	J. Spin Res.	5(7)	1039-1042	2014
小林祥, 松山幸弘	術中脊髄機能モニタリングの現在	脊椎脊髄ジャーナル	27(4)	309-313	2014
小林祥, 松山幸弘	胸椎後縦靭帯骨化症における後方除圧矯正固定術における脊髄保護	別冊整形外科	66	204-208	2014
伊藤全哉, 松山幸弘, 四宮謙一, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹司, 齊藤貴徳, 高橋雅人, 小林祥, 藤原靖, 木田和伸, 山田圭, 和田簡一郎, 山本直也, 里見和彦, 谷俊一	胸椎OPLL手術において術後麻痺を防ぐには? -麻痺を呈する操作及びアラームポイント: 全国多施設研究	脊髄機能診断学	35(1)	In press	2015
小林祥, 松山幸弘, 四宮謙一, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹司, 齊藤貴徳, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 木田和伸, 山田圭, 和田簡一郎, 山本直也, 里見和彦, 谷俊一	術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)の術前麻痺患者におけるアラームポイント~脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き研究~	脊髄機能診断学	35(1)	In press	2015
山田圭, 小林祥, 長濱賢, 田所伸朗, 和田簡一郎, 村本明生, 岩崎博, 寒竹司, 関庄二, 平尾雄二郎, 溝田敦子, 安藤宗治, 大田亮, 松山幸弘	側弯症の病態別に見た術中モニタリングのアラームポイントの検討	脊髄機能診断学	35(1)	In press	2015
藤原靖, 泉文一郎, 真鍋英喜, 川井和美	脊髄髄内腫瘍摘出術に対する術中脊髄モニタリング	脊髄機能診断学	35(1)	In press	2015
加藤啓, 國府田正雄, 古矢丈雄, 大河昭彦, 高橋和久, 山崎正志	【運動器疼痛治療における最近の話題】脊髄障害性疼痛に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の効果.	ペインクリニック	35(8)	1027-1034	2014

古矢丈雄，藤由崇之，國府田正雄，小西宏昭，山崎正志	【特集：頸部脊髄症の診察】頸部脊髄症に対する後方除圧固定術	MB Orthopaedics	27(2)	55-62	2014
古矢丈雄，山崎正志，大河昭彦，國府田正雄，新朮正明，加藤啓，稲田大悟，神谷光史郎，高橋和久	臨床経験 局所後弯変形を伴った頸髄症に対する前後合併手術．	臨床整形外科	49(10)	911-915	2014
山崎正志，國府田正雄，古矢丈雄，加藤啓，牧聡，久保田希	【脊椎脊髄の科学-基礎と臨床の進歩Review 2014】(第5章)外傷 脊髄損傷治療の最近の進歩．	脊椎脊髄ジャーナル	27(4)	345-351	2014
山崎正志，國府田正雄，古矢丈雄，高橋宏，藤由崇之，佐久間毅，加藤啓，稲田大悟，神谷光史郎，橋本光宏，林浩一，川辺純子，山内友規，門田領，萬納寺誓人，宮下智大，染谷幸男，鎌田尊人，池田修，橋本将行，大河昭彦，須田浩太，揖野知道，上田明希，伊藤康夫，植田尊善，花岡英紀，高橋和久	運動器再生医療研究の最先端 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法 医師主導型自主臨床試験．	日整会誌	88(4)	224-229	2014
吉田新一郎 小澤浩司、ほか	最近10年間の当科におけるLuque SSI法の経験	東北整災雑誌	57	15-19	2014
橋本光宏，山崎正志，望月真人，山縣正庸，池田義和，中島文毅，高橋和久	頸髄症に対する頸椎長範囲前方除圧固定術の10年以上の長期成績	J Spine Res	5(2)	162-165	2014
中嶋 秀明，内田研造，馬場 久敏	FDG-PETによる脊髄機能評価	Bone Joint Nerve	4巻2号	223-229	2014
馬場 久敏，竹浦直人，吉田 藍，中嶋 秀明	頸椎前方除圧固定術術式の基本と応用	脊椎脊髄ジャーナル	27巻6号	599-606	2014

杉田 大輔, 内田 研造, 中嶋 秀明, 竹浦 直人, 吉田 藍, 馬場 久敏	頸椎OPLLの骨化前線部 における軟骨細胞肥大 に関する転写因子のマ イクロアレイを用いた 検討	中部日本整形 外科災害外科 学会雑誌	57巻4号	873-874	2014
中嶋 秀明, 内田 研造, 竹浦 直人, 本定 和也, 坂本 拓己, 馬場 久敏	MRI画像における髄内輝 度変化経過と臨床成績	中部日本整形 外科災害外科 学会雑誌	57巻5号	1123-1124	2014
松永俊二, 小宮節 郎, 戸山芳昭	頸椎後縦靭帯骨化症の 自然経過	脊椎脊髄ジャ ーナル	27(9)	823-827	2014
松永俊二	頸椎後縦靭帯骨化症の 疫学と自然経過	J Spine Res	5	1287-1292	2014